

工学研究科 情報システム工学専攻 博士前期課程

【教育目標】

- 1.情報基礎と情報デバイス、情報通信、画像情報処理、マルチメディア、生産情報システム、知能情報システムの6分野にわたる教育研究テーマを設け、それぞれの分野の技術発展に貢献できる人材の育成を行う。
- 2.イノベティブかつ分野横断的な情報技術が活躍する時代に対応できる技術者や研究者の育成を目標とする教育を行う。

【ディプロマ・ポリシー】

情報システム工学専攻では、情報システムに関わる幅広い分野の技術発展に貢献でき、イノベティブかつ分野横断的な情報技術が活躍する時代に対応できる技術者・研究者の育成という教育目標に基づき、以下の知識と能力を身に付けた学生に対して学位を授与します。

- 1.情報システム工学の各分野に関する高度な専門知識・技能を修得している。
- 2.専門知識・技能を活用して種々の情報システムの設計・開発に携わることができる。
- 3.これまでに獲得した知識と経験に基づき、情報システム関連の具体的な事例に対して総合的に問題解決を図ることができる。

【カリキュラム・ポリシー】

情報システム工学専攻では、情報システムに関わる幅広い分野の技術発展に貢献でき、イノベティブかつ分野横断的な情報技術が活躍する時代に対応できる技術者・研究者の育成という教育目標に基づき、以下のような教育課程を編成・実施します。

- 1.ディプロマ・ポリシーに掲げる高度な専門的知識・技能、および技術者・研究者としての倫理について学ぶことができるカリキュラムを編成する。
- 2.コースワーク科目とリサーチ科目を交互に編成し、それらを体系的かつ横断的に習得するための指導を行う。

【アドミッション・ポリシー】

情報システム工学専攻では、本専攻のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに共感・賛同する以下のような人を受け入れます。入学選抜にあたっては、志願者の長所、可能性に着目することを旨とし、厳正に実施します。

(求める学生像)

- (1) 情報システム技術が活躍する時代に対応できるイノベティブかつ分野横断的に活躍する技術者・研究者を目指す人。
- (2) 専門的な情報システム技術を積極的に修得し、それらを用いて社会に貢献することを目指す人。
- (3) 情報システムに関連する周辺分野に広く関心を持ち、積極的に修得する意欲のある人。
- (4) 倫理観を備え、情報システムを人道的かつ平和的に使用する人。
- (5) 情報システムに関わる幅広い分野の技術発展に貢献できる人。
- (6) 情報システム技術全般について学ぶための基礎的学力を有する人。
- (7) 情報システム技術を発展させるための論理的思考力を有する人。

(選抜方法)

入試名称 求める学生像	推薦	一般
(1)	◎	○
(2)	◎	○
(3)	◎	○
(4)	◎	◎
(5)	◎	○
(6)		◎
(7)	◎	◎

改正 2021年3月24日